

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2004-501876(P2004-501876A)

【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-003

【出願番号】特願2002-505112(P2002-505112)

【国際特許分類】

C 07 D 213/53 (2006.01)

B 01 J 31/22 (2006.01)

C 07 C 2/32 (2006.01)

C 07 C 11/02 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 213/53

B 01 J 31/22 Z

C 07 C 2/32

C 07 C 11/02

C 07 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月2日(2008.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

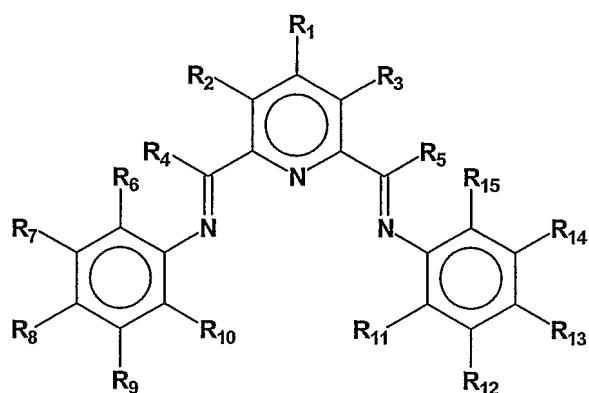
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式(V)のビス-アリールイミンピリジン配位子。

【化1】



(V)

[式中、R<sub>1</sub>～R<sub>5</sub>、R<sub>7</sub>～R<sub>9</sub>、およびR<sub>12</sub>～R<sub>14</sub>は、それぞれ独立に、水素、場合によって置換されたヒドロカルビル、不活性な官能基であり、または互いに隣接するR<sub>1</sub>～R<sub>3</sub>、R<sub>7</sub>～R<sub>9</sub>、およびR<sub>12</sub>～R<sub>14</sub>の任意の2個は一緒になって環を形成してもよく、R<sub>6</sub>、R<sub>10</sub>、R<sub>11</sub>、およびR<sub>15</sub>は、同一でフッ素または塩素から選択される]

【請求項2】R<sub>1</sub>～R<sub>3</sub>は水素であり、R<sub>4</sub>およびR<sub>5</sub>はメチルであり、R<sub>7</sub>～R

$R_9$  および  $R_{1,2} \sim R_{1,4}$  は水素であり、  $R_6$ 、  $R_{1,0}$ 、  $R_{1,1}$ 、 および  $R_{1,5}$  はフッ素である請求項 1 に記載のビス - アリールイミンピリジン配位子。

【請求項 3】  $R_1 \sim R_3$  は水素であり、  $R_4$  および  $R_5$  はフェニルであり、  $R_7 \sim R_9$  および  $R_{1,2} \sim R_{1,4}$  は水素であり、  $R_6$ 、  $R_{1,0}$ 、  $R_{1,1}$ 、 および  $R_{1,5}$  はフッ素である請求項 1 に記載のビス - アリールイミンピリジン配位子。

【請求項 4】  $R_1 \sim R_3$  は水素であり、  $R_4$  および  $R_5$  は水素であり、  $R_7 \sim R_9$  および  $R_{1,2} \sim R_{1,4}$  は水素であり、  $R_6$ 、  $R_{1,0}$ 、  $R_{1,1}$ 、 および  $R_{1,5}$  は塩素である請求項 1 に記載のビス - アリールイミンピリジン配位子。

【請求項 5】 請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の配位子を含むビス - アリールイミンピリジン  $M X_n$  錯体であって、  $M$  は  $Fe$  および  $Co$  から選択される金属原子であり、  $n$  は 2 または 3 であり、  $X$  はハライド、 場合によって置換されたヒドロカルビル、 アルコキシド、 アミド、 または水素化物である該錯体。

【請求項 6】 請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の配位子を含む [ ビス - アリールイミンピリジン  $M Y_p \cdot L_n^+$  ] [  $NC^-$  ]  $q$  錯体であって、  $Y$  はオレフィンを挿入することができる配位子であり、  $M$  は  $Fe$  および  $Co$  から選択される金属原子であり、  $NC^-$  は非配位性アニオンであり、  $p + q$  は 2 または 3 であり、 前記金属原子の正式な酸化に対応し、  $L$  は中性の  $Lewis$  ドナー分子であり、  $n = 0, 1$ 、 または 2 である該錯体。

【請求項 7】 アルファオレフィンの生成方法であって、 請求項 5 に記載の 1 種または複数の錯体をエチレン、 および場合によって置換されたヒドロカルビルまたは水素化物基を前記金属原子  $M$  に移動させることができ、 また - 100 から 300 の温度範囲で  $X^-$  基を前記金属原子から分離することができる第 2 の化合物と接触させることを含む方法。

【請求項 8】 アルファオレフィンの生成方法であって、 請求項 5 に記載の 1 種または複数の錯体をエチレン、 および場合によって置換されたヒドロカルビルまたは水素化物基を前記金属原子  $M$  に移動させることができる第 2 の化合物、 および  $X^-$  基を前記金属原子から引き抜くことができる第 3 の化合物と - 100 から 300 の温度範囲で接触させることを含む方法。

【請求項 9】 アルファオレフィンの生成方法であって、 請求項 6 に記載の 1 種または複数の [ ビス - アリールイミンピリジン  $M Y_p \cdot L_n^+$  ] [  $NC^-$  ]  $q$  錯体を - 100 から 300 の温度範囲でエチレンと接触させることを含む方法。

【請求項 10】 前記錯体をアルファオレフィンの生成に適切に使用できる 1 種または複数の追加の錯体と接触させる請求項 7 から 9 のいずれか一項に記載の方法。